

農林海洋科学部 カリキュラム・ポリシー

教育課程は、ディプロマ・ポリシーへの到達を目的に、1年次の「課題探求実践セミナー（フィールドサイエンス実習）」（共通教育科目）により農林海洋科学部の諸分野の内容や魅力を伝えた上で、学部共通科目及び学科共通科目の「DS・DX科目」や、学科・コース独自の専門分野の講義・実験・実習科目からなるさまざまな「専門科目」、「卒論科目」などで編成する。

【教育方法】

○DS・DX科目

学部共通科目及び学科共通科目の「DS・DX科目」を受講させ、データサイエンスや一次産業のDXに必要な知識を修得させる。

○専門科目

農林海洋科学諸分野の専門科目を受講させる。両学科ともにコース横断的な受講が可能であり、専門性を高めるとともに幅広い知識を習得できる。

○必修の専門科目である「卒業論文」において、研究者倫理に関する授業を実施し、高い倫理意識のもとに、他者とのコミュニケーション能力を育成する。

【教育プログラム】

学部プログラムとして、「SUIJI」（共通教育）及び「農山漁村地域連携教育」の2つのプログラムを設置し、国際的・地域的視野とフィールドワーク能力を涵養する。学科プログラムとして、農林資源科学科では「次世代農業教育プログラム」を、海洋資源科学科では「総合的海洋管理教育プログラム」を設け、専門領域の知識・技術の深化を図る。

【学修評価とカリキュラム評価】

学修は、試験や演習・実験・実習等の成績により評価する。学生や卒業生へのアンケート結果を参照しつつ、カリキュラム評価を実施し、改善を行う。

農林海洋科学部 農林資源科学科 カリキュラム・ポリシー

本学科では、情報処理・統計学をベースとした農学系 DX 教育を基盤教育の一部とした上で農学における生物系が中心であるフィールド科学及び化学系が中心である農芸化学の専門知識を教授する。これと同時に両者を融合する必修科目を設置することで学科全体に一次産業 DX に即応できるカリキュラムを実践し、さらに「次世代農業教育プログラム」によりこれを深化する。

【教育内容】

教育課程は、ディプロマ・ポリシーへの到達を目的に、データ教育を行う学科共通の「DS・DX 科目」、専門分野の講義・実験・実習科目からなるさまざまな専門科目、キャリア形成のための「キャリア形成科目」などで編成する。

【教育方法】

○DS・DX 科目

学科全体としてデータサイエンスと一次産業の DX に必要な知識を修得できる。

○学科共通科目

両コース横断的な受講が可能であり、専門性を高めるとともに幅広い知識を修得できる。

○専門科目

農林資源科学の諸分野の専門科目を受講させることにより、専門性を高めるとともに幅広い知識を修得できる。

○経営・マーケティング科目

農業経営やマーケティング分野の専門科目を受講させることにより、農林生産物の 6 次産業化のための基盤的知識を修得できる。

○キャリア形成科目

高知県内の試験研究機関、農業協同組合(JA)、篤農家や農業法人等の実務者を講師とするキャリア形成科目により学生の興味・関心を引き出すとともに、「インターンシップ(技術・技能)」と「インターンシップ(実践力)」にて現場力を涵養する。

【教育プログラム】

学科プログラムとして「次世代農業教育プログラム」を設定し、一次産業 DX 教育で得られた専門領域の知識・技術の深化を図る。

【学修評価とカリキュラム評価】

学修は、試験や演習・実験・実習等の成績により評価する。在学生や修了生へのアンケート結果を参照しつつ、カリキュラム評価を実施し、改善を行う。

農林海洋科学部 海洋資源科学科 カリキュラム・ポリシー

本学科では、「海洋生物生産学」、「海底資源環境学」、「海洋生命科学」の3コースを設置し、天然資源の維持管理・有効利用に関連して3コースが有機的に連携・機能することで、多様化・複雑化する諸課題の解決に対応でき、地域社会や国際社会で活躍できる「海洋専門人材」の育成を目指し、ディプロマ・ポリシーを設定している。このディプロマ・ポリシー達成のため、カリキュラムを次の方針により編成し実施する。

【教育内容】

教育課程は、ディプロマ・ポリシーへの到達を目的に、学科共通科目と各コース専門科目をおく。学科共通科目は、総合的海洋管理について学ぶ「ICOM（総合的海洋管理教育プログラム）科目」、「学科共通科目」で編成し、「ICOM科目」は、「基盤科目」と「応用科目」に区分する。また、両科目中にデータサイエンス教育を行う「DS・DX関連科目」を配置する。各コース専門科目は、各コースの専門分野の講義・実験・実習科目から編成され、さらに各コースの科目のもと、応用科目、発展科目を配置する。

【教育方法】

○総合的海洋管理（ICOM）教育プログラム科目

データサイエンスや一次産業 DX を含む総合的海洋管理のための知識・技能及び一次産業を含む海洋科学分野の DX に必要なデータサイエンスの知識を修得させる。基盤科目、基盤科目（DS・DX関連科目）、応用科目、応用科目（DS・DX関連科目）に区分する。

○共通科目

コース横断的な受講が可能であり、専門性を高めるとともに幅広い知識を修得できる。基盤科目と応用科目に区分する。

○コース別専門科目

学科共通の基盤科目と応用科目により専門性の向上及び幅広い知識を修得する。それを経て、各コースの応用科目と発展科目を受講させる。

○卒業論文

必修の専門科目である「卒業論文」において、他者とのコミュニケーション能力を涵養するとともに、研究者倫理を教授し、高い倫理観を育成する。

【教育プログラム】

学科プログラムとして、「総合的海洋管理教育プログラム」を設定し、“海洋資源”及び“海洋環境”をキーワードとした分野横断的な教育を実施することで、海を「知り、使い、そして護る」ために、生物・非生物を含めた「海洋資源」を様々な側面から扱うことのできる人材育成を行う。

【学修評価とカリキュラム評価】

学修は、試験や演習・実験・実習等の成績により評価する。在学生や卒業生へのアンケート結果を参照しつつ、カリキュラム評価を実施し、改善を行う。